

第11回市場公募地方債発行団体合同 I R 説明会

## 北九州市の経済情勢と財政状況について



北九州市 財政局 財務部 財政課

〒803-8501

北九州市小倉北区城内 1 番 1 号

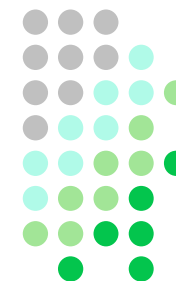


TEL : 093-582-2003

FAX : 093-582-2070



# 目 次



北九州市のプロフィール	1
「元気発進！北九州」プラン	2
地域の魅力向上	3
北九州市の成長戦略	5
国際戦略総合特区	6
アジア低炭素化センター	7
官民連携による海外水ビジネスの展開	8
スマートコミュニティ創造事業	9
北九州市環境未来都市	10
東日本大震災復興支援への取り組み	12

## 1 北九州市経済の現状

ものづくり産業の蓄積	13
極めて低い地震・災害リスク	14
成長を支える物流インフラ	15
多様なニーズに応える産業用地	16
企業集積の状況	17

## 2 北九州市の財政状況

歳入・歳出決算の状況	18
歳入決算額の推移	19
市債発行額と市債依存度の推移	20
歳出決算額の推移	21
公債費の推移	22
市債残高の推移	23
健全化判断比率等	24
これまでの経営改善の取り組み	25
新行財政改革の検討と 「北九州市行財政改革調査会」	26

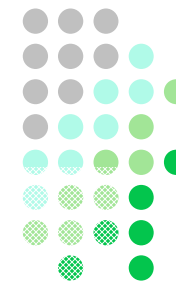
## 3 起債運営について

起債発行計画	27
資金調達の多様化への取り組み	28
平成24年度市場公募債発行計画	29



注：本資料で用いる政令市とは、平成24年度に政令市に移行した熊本市を除く19都市を指す。

# 北九州市のプロフィール



発足：昭和38年（1963年）2月10日 5市合併により誕生

**五大市に次ぐ全国6番目の政令市 平成25年2月10日に市制50周年を迎える**

人口：974,691人（平成24年3月31日現在） 面積：488.78 km<sup>2</sup>

若松と戸畑を結ぶ  
若戸大橋



提灯が揺れる  
戸畑祇園大山笠



和布刈展望台から望む関門橋

工場萌えツアーが楽しめる壮大な工場群



太鼓の音が鳴り響く小倉祇園太鼓



東アジアに近い  
北九州  
日本を代表する  
ものづくり産業  
(基礎素材産業) が集積

北九州市

個性豊かな  
7区

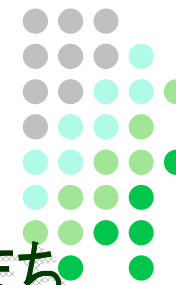


1901年操業開始東田第一高炉



平尾台のカルスト台地

# 「元気発進！北九州」プラン



## ● まちづくりの目標 ●

「元気発進！北九州」プラン

# 人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち

### まちづくりの基本方針

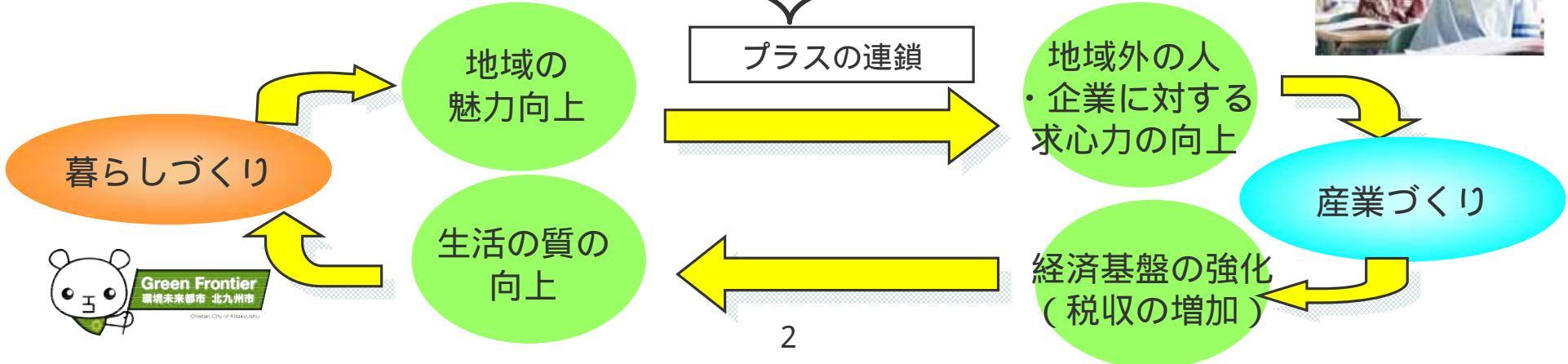
- 人づくり 多様な人材が輝くまちをつくる
- 暮らしづくり 質の高い暮らしができるまちをつくる
- 産業づくり 元気で人が集まるまちをつくる
- 都市づくり 便利で快適なまちをつくる

### 北九州ブランドの創造

本市の中核的な強みや  
魅力を表す都市ブランド  
.....  
**世界の環境首都**  
**アジアの技術首都**

### まちづくりのちから

- 市民のちから (みんなでまちをつくる)
- 行政のちから (新しい市役所に変わる)
- 連携のちから (まちとまちのつながりを強める)
- 資産のちから (まちの「たから」を活かす)
- 自然のちから (自然の恵みを活かす)





北九州市漫画ミュージアム

NEW  
Since 2012. 8

これまで、松本零士氏など日本を代表する著名漫画家を多く輩出

松本零士「**銀河鉄道999**」

わたせせいぞう「**ハートカクテル**」

北条司「**シティーハンター**」など



漫画の魅力を幅広い世代に伝えるための漫画文化拠点「北九州市漫画ミュージアム」。常設展は勿論、全国で巡回中の集客力のある企画展にも注力。開館から1ヶ月で来場者1.5万人を突破した。長崎県、広島県など約5割は市外からの来場。

11/3～12/28「**ルパン三世展**」九州では唯一漫画ミュージアムで開催！！  
ミュージアムが入居する大型商業施設“あるあるCity”は、漫画、アニメ、フィギュアなど、サブカルチャーのテナントが集積。吉本興業運営のお笑い劇場も。



北九州フィルム・コミッション

豊富なロケ地を活かし、多くの映画やテレビドラマを撮影支援

平成21年度 映画「THE LAST MESSAGE 海猿」、

「交渉人 The Movie」、他8件

平成22年度 映画「ロボジー」、

ドラマ「十津川警部シリーズ44」他12件

平成23年度 映画「ワイルド7」、ドラマ「ランナウェイ」、他16件

新 平成24年度 映画「あなたへ」

H元年度以降累計(H24.7末現在)：映画63本、ドラマ78本 計141本



北九州市時と風の博物館

<http://www.kitakyushu-museum.jp/>

まち全体を博物館に、市内各地の地域資源を展示品に見立て、効果的に情報を発信するインターネット上の博物館。展示品の閲覧はもちろん、展示品・コメントの登録やイベント情報の告知なども可能。

体験型産業観光 -工場萌えツアー-

日本の近代化産業を牽引してきた、北九州工業地帯の夜景を觀賞するツアーを挙行。

工場群の景色はモノづくりの街・北九州市の原風景であり、特にその景色は力強く煌き、昼間には見られない工場の別の表情を楽しむことができる。

24.9～12月 北九州工場群 トワイライトクルーズ & 夜景バスツアー開催中 <http://www.kcta.or.jp/>



B-1 グランプリ

開催：平成24年10月20日(土)～21日(日)



北九州国際音楽祭

入場者数1万人超の音楽祭  
昭和63年から開催、  
今年で25回目

開催：平成24年10月14日(日)  
～11月23日(金) 3

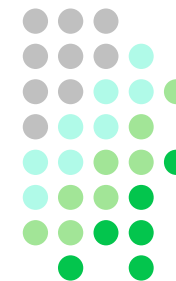


主な芸術・文化施設

北九州芸術劇場  
北九州響ホール  
アルモニサントルレホール  
松本清張記念館  
黒崎ひびしんホール



# 地域の魅力向上～スポーツの振興～



優秀なスポーツ選手を  
多数輩出！！



2012年  
ロンドン  
オリンピック

ク、パラリンピックでは、北九州市にゆかりある選手10人が活躍しました。

										
選手名	中本健太郎選手	東慶悟選手	永井謙佑選手	竹下佳江選手	太田和臣選手	岸川聖也選手	西山得士選手	池田信太郎選手	瀬田玲子選手	山本浩之選手
競技種目	陸上 (男子マラソン)	男子サッカー		女子 バレーボール	加什リフティング (男子105kg級)	卓球 (男子シングルス (男子団体))	柔道 (男子90kg級)	バドミントン (混合ダブルス)		陸上 (車椅子マラソン)
本市 との ゆかり	飯塚川電機	深町小 若松中	医生ヶ丘小 浅川中 九州国際大 付属高	坂ヶ丘小 戸ノ上中	萩原小 六生中 八幡中央高 九州国際大 九州国際大 附属	引野小 引野中	守恒中	九州国際大 付属高	九州国際大 付属高	志井小 志徳中 北九州高
結果	6位入賞	4位入賞		銅メダル	13位	男子シングルス 5位入賞 男子団体5位入賞	銅メダル	予選敗退		5,000m10位 車椅子マラソン22位 1,500m予選敗退



J2  
H22 第19位 (19チーム中)      H23 第8位 (20チーム中)

本市にプロスポーツを誕生させるため、平成13年に前身であるニューウェーブ北九州が設立。  
平成22年シーズンからJ2参戦。平成23年2月に三浦泰年監督を迎え健闘中。

北九州市制50周年記念事業

## 日本スポーツマスターズ 2013

競技志向の高いシニア世代(35歳以上)を対象としたスポーツの祭典  
政令指定都市による主催開催は初めて  
開催：平成25年9月予定

### 全国高等学校選抜自転車競技大会

開催：平成25年3月21日(木)～3月23日(土) (予定)

### 選抜女子駅伝北九州大会

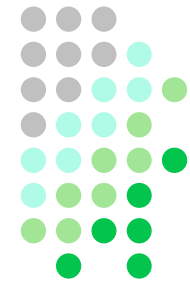
開催：平成25年1月20日(日)

実業団、高校の女子長距離界のトップチームが集う大会

### 国際車椅子バスケットボール大会

開催：平成24年10月26日(金)～10月28日(日)

車椅子バスケットボールのクラブチーム世界一決定戦



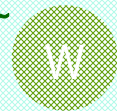
### バックボーンとなる公害克服の経験と実績

高い国際評価

- 1990年 国連「グローバル500」受賞
- 1992年 「国連自治体表彰」(日本初) 受賞
- 2000年 国連ESCAP大臣会合「クリーンな環境のための北九州アジア」採択
- 2002年 地球サミット2002持続可能な開発表彰」受賞 など

~ 公害のまちから “環境のトップランナー” へ ~

2011年12月、「国際戦略総合特区」  
「環境未来都市」にダブル選定！！



国の成長戦略に位置づけられた「国際戦略総合特区」  
及び「環境未来都市」に、  
北九州市は、昨年12月、合わせて選定されました。



「緑の成長戦略」の実現を加速



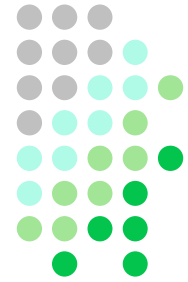
Green Frontier  
環境未来都市 北九州市  
©Urban, City of Kitakyushu

1. 2008.7 環境モデル都市に認定される
3. 2011.12 国際戦略総合特区に指定される

2. 2011.6 OECD”グリーン成長モデル都市”に選定される
4. 2011.12 環境未来都市に選定される

# グリーンアジア国際戦略総合特区

福岡県・北九州市・福岡市



A

Advantages

本地域の  
強み

## 環境トップランナーとしての技術・ノウハウ・ブランドの蓄積と緊密なアジアとのネットワーク

高度成長期の公害を克服した技術や人材、世界に誇る省エネ・省資源をはじめ環境関連の産業・研究機能の集積  
 エコタウン、環境フレンドリー都市等、環境分野における先駆的な取組  
 長年にわたるアジアとの交流で培った人材・経験・信頼のネットワーク  
 石炭、鉄鋼、化学から、半導体、自動車、ロボットに至る産業・技術の蓄積と、パワー半導体、LED、低燃費車など環境性能の高い製品の生産拠点の集積  
 成長するアジア市場への地理的接近性、高いアジアとの親和性

【実施する事業】

### 「アジア低炭素化センター」によるパッケージを中心とした環境ビジネスのアジア展開

アジア低炭素化センター（環境ビジネスのアジア展開支援）  
 官民連携による海外水ビジネスの展開  
 スマートコミュニティ創造事業

### グリーンイノベーションを主導する産業拠点の形成

環境配慮型高機能・高コストパフォーマンス製品開発・  
 生産拠点の構築  
 グリーンイノベーション研究拠点の形成

### 資源リサイクル等に関する次世代拠点の形成と展開

資源リサイクル等に関する次世代拠点の形成

### アジアとのネットワークを活用したシームレスなビジネス環境の実現

東アジア海上高速グリーン物流網と拠点の形成  
 中小企業のアジア展開支援

### 数値目標

2020年までに  
**約5兆円の追加売上高**  
 (国の目標『50兆円超』  
 の約1割)

### New Tax System

「グリーンアジア国際戦略総合特区」に関する **北九州市独自の税制措置**として、**固定資産税を3年間課税免除**する制度を新設。

対象；総合特区の計画に沿う事業を行う企業が、特区内で新規取得した一定の**土地、家屋、構築物、研究開発用償却資産**。

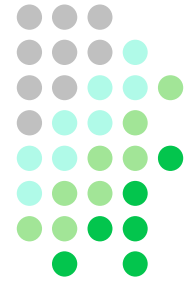


Green Frontier  
 環境未来都市 北九州市

©2012, City of Kitakyushu



# “環境ビジネス”のアジア展開を支援 アジア低炭素化センター

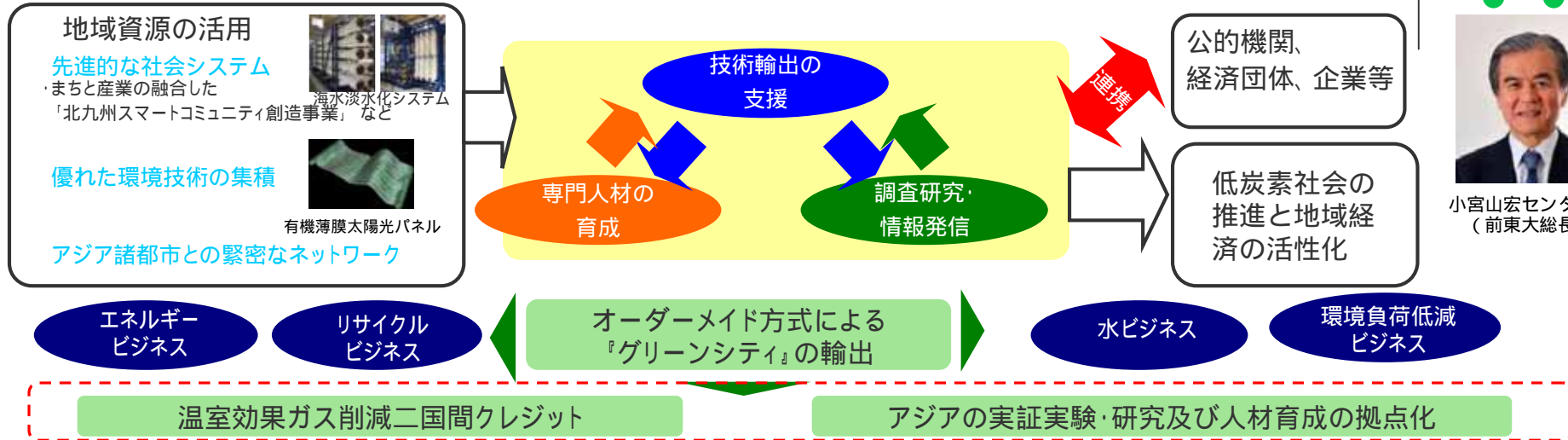


小宮山宏センター長  
(前東大総長)

## 【取組内容】

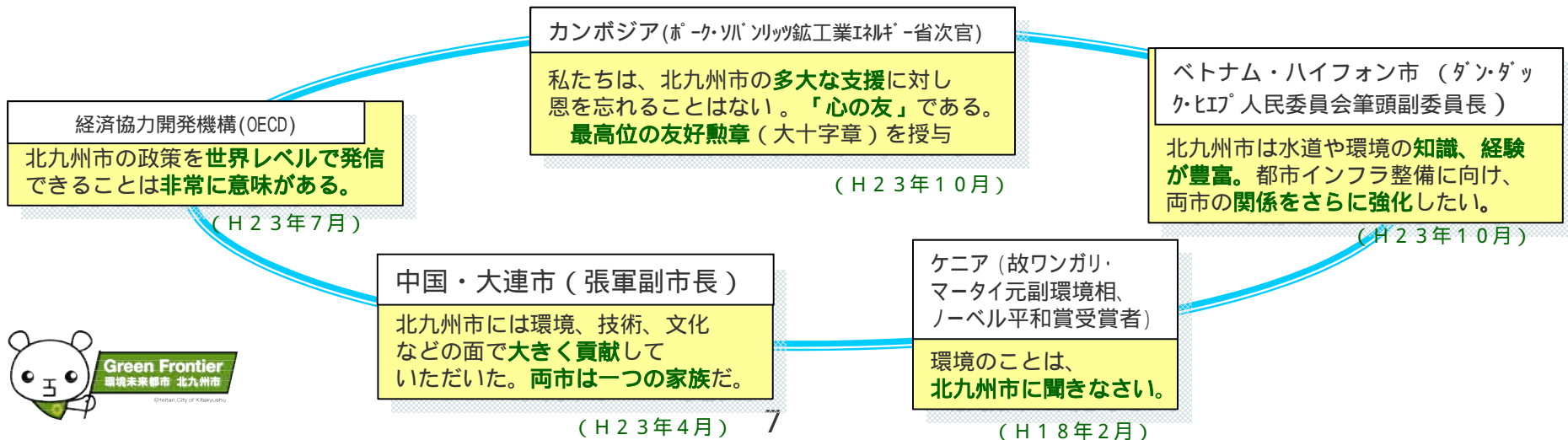
都市環境インフラのパッケージ化  
技術・製品等の展開支援

海外とのネットワークを活かしたマーケティング活動  
人材育成の拡充  
温室効果ガスの2国間クレジット

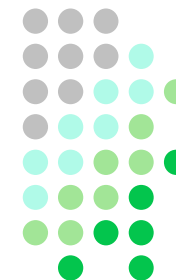


## 北九州市の海外からの評価

北九州市の取組の実績は、世界的に評価され、今後も期待されています。



# 官民連携による海外水ビジネスの展開



## 【北九州市水ビジネスの方向性】

< 現在 >

基本計画作りを上下水道局を中心に受注  
**北九州市海外水ビジネス推進協議会**へバトンタッチ  
 (設計・施工を会員企業が受注)

< 今後の展開 >

設計・建設から運営管理を含む**ワンパッケージ型の本格的案件受注**  
**都市インフラを一括して整備**する開発行為(まちづくり)の  
 中での上下水道整備案件受注  
**ウォータープラザを中核施設**とする国際戦略拠点を活かした  
 新たなビジネス展開

## Background

公害克服の実績と国際的評価

国際技術協力の豊富な実績と太い人脈

上下水道分野での  
 協力実績

【専門家派遣】 (H2～H23年度)

13カ国・延べ153名  
 (カンボジア、中国、  
 サウジアラビア、ベトナム等)

【研修員受入】

129カ国・延べ3,255名



国内  
 初

## 先進の水循環システムの技術開発・運営実証・情報発信拠点「ウォータープラザ北九州」

実規模で実証運転が行える「**デモプラント**」と「**テストベッド**」から構成

【デモプラント】下水の膜処理と海水淡水化を組合せた省エネ型新規造水プラント

【テストベッド】企業等が機器を持ち込み、  
 複数の実験を同時に実施可能



“水”に関する  
 多様なニーズに、  
 自治体と企業が  
 一体となり対応

これまでの  
 取組成果

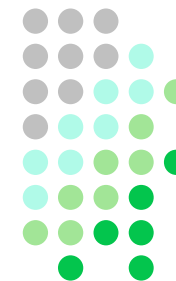
カンボジアに  
 おける  
 上水道  
 整備事業

1. シェムリアップ市浄水場基本設計補完業務 (H23.3)
2. セン・モノロム市上水道整備コンサルティング業務 (H23.8受注内定、H24.6契約)
3. カンポット市/ケップ市の水道事業計画に係る基礎調査 (H24.1)
4. バタンバン市/コンボンチャム市上水道拡張整備計画準備調査 (H24.5)

ベトナムに  
 おける  
 上下水道  
 整備事業

5. ハイフォン市における配水ブロック整備初期調査 (H23.11)
6. ハイフォン市における下水道人材育成業務 (H24.2)

# スマートコミュニティ創造事業



## 事業概要

北九州市八幡東区東田地区まちづくりエリア120haにおいて、スマートコミュニティの実証推進。技術・ノウハウをパッケージ化し、海外・国内他地域への展開に取り組む。




## 八幡東区東田地区の概要 (2012年4月現在)


面積 120ha 就業者数 約6,000人 居住者数 約900人  
進出企業 約210社・団体 年同来街者 約1,000万人

### 新エネルギー等10%街区

**タウンメガソーラー** 地域内 1,000kW




**北九州水素タウン**



副生水素パイプライン


### 街区丸ごとの省エネシステム導入

デマンドレスポンスに対応した BEMS HEMS の導入




スマートオフィス (5ヶ所) スマートファクトリー (10ヶ所)

直流給電住宅の実証



### 地域エネルギーマネジメントの構築



地域節電所

スマートメーカーの大量導入 (70社、200世帯)

スマートマンション

スマートビル

スマートマンション

スマートスクール

データセンター

太陽光発電

次世代SS

水素ネットワーク

天然ガスコジェネ

送配電網

IT網

CEMS(地域節電所)

大規模蓄電池

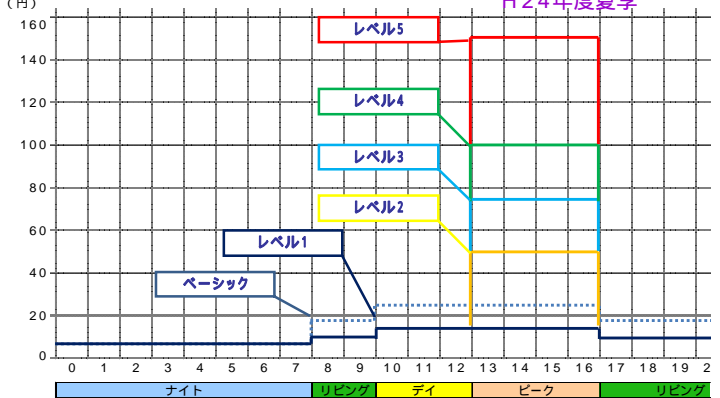
風力発電 仮想導入

風力発電所 1.5万KW


レンタサイクルステーション

### ダイナミックプライシング

住宅向けダイナミックプライシング料金テーブル(例) H24年度夏季



時間帯	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	ベーシック
0-7 (ナイト)	100	80	60	40	20	10
8-11 (リビング)	150	120	100	80	60	40
12-17 (デイ)	160	140	120	100	80	60
18-23 (リビング)	100	80	60	40	20	10



9 宅内表示器



参加住民(宅内表示器)

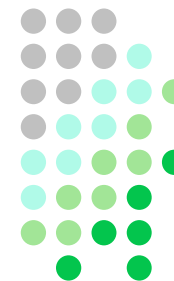
前日 14:00以降 電力需要予測 翌日のプライス 通知

当日 6:00以降 地域節電所 電力需要予測 当日のプライス 通知

翌日の料金が通知されます。

前日通知したものと同一料金が再度通知されます。

# 北九州市 環境未来都市



## 環境未来都市

国の成長戦略で位置づけられた国家プロジェクトの1つ「環境未来都市」構想では、環境や超高齢化に対応する次世代のまちづくりを推進。地域における自立的な展開を推進し、国内外へその成果を発信していく。

### Motivation ~これまでの取組みが原動力に~

#### 公害克服により得られた資源（財産）

- 産学民官のコラボレーション
- 技術（イノベーション）・人材
- 国際協力によるアジア諸国とのネットワーク

#### エネルギーを大切に使う

温室ガス排出量の削減  
1,560万トンの(H17) 1,180万トンの(H37)

#### ゴミが少ないきれいな街で暮らせる

家庭ごみの発生量506g(H21) 450g(H37)  
リサイクル率30.4%(H21) 40.0%(H37)

#### 役割をもち元気に楽しく過ごせる

高齢者の知恵や経験を活用できる事業の実施と参加  
40.9%(H22) 50%(H37)



#### 高齢化の先行都市 = 近未来のアジアの姿

高齢化率 25.1% 【政令市1位】  
7区中2区で 30%超

#### 身近な緑や水辺で安らげる

都市の中の緑化面積の増加  
(市街化区域における緑被率)  
17%(H22) 30%(H62)

#### 安心して子どもを育てられる

子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合  
52%(H22) 70%(H37)

#### このまちで学びこのまちで働ける

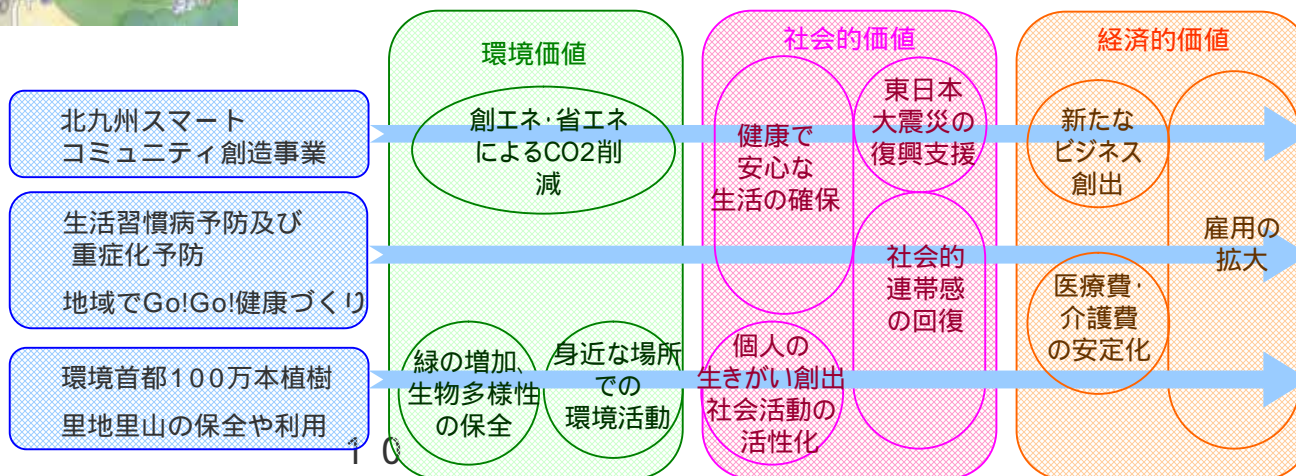
アジア低炭素化センターを格とした  
本市発の国際ビジネス案件の増加  
1件(H22) 100件(H37累計)

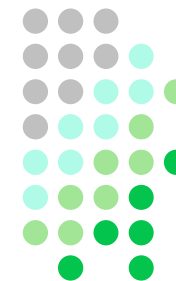
#### 【北九州市環境未来都市の具体的な方向性】

- これまで蓄積した「環境」の取り組みを将来のまちづくりに活用
- 超高齢化（福祉分野）では、市民の日常生活に焦点を当てる
- 総合特区制度の活用
- 東日本大震災被災地の復興支援につなげる

### < 創造する様々な価値の例 >

環境未来都市の取組が様々な価値を創造し、相乗効果を発揮します。





「超高齢化対応」に関する取組方針

地域医療

- (1) 身近な地域で健康をつくる
- (2) 地域の医療資源を活かす

地域の介護・福祉

- (1) 自ら進んで「健康」をつくる
- (2) 地域で見守り、支えあう

子育て・教育

- (1) 地域で子どもを育てる
- (2) 安心して子育てできるしくみをつくる
- (3) 子どもの「環境力」を育む



地域の健康づくりとして取組むウォーキング



企業人による小学校の出席授業

北九州市 は合計特殊出生率が **No. 2** (政令市中)

子育て支援の主な取り組み

放課後児童クラブの全児童化

「赤ちゃんの駅」事業の推進

乳幼児等医療費支給制度の拡充

24時間365日対応の小児救急医療体制における総合的救急医療の提供

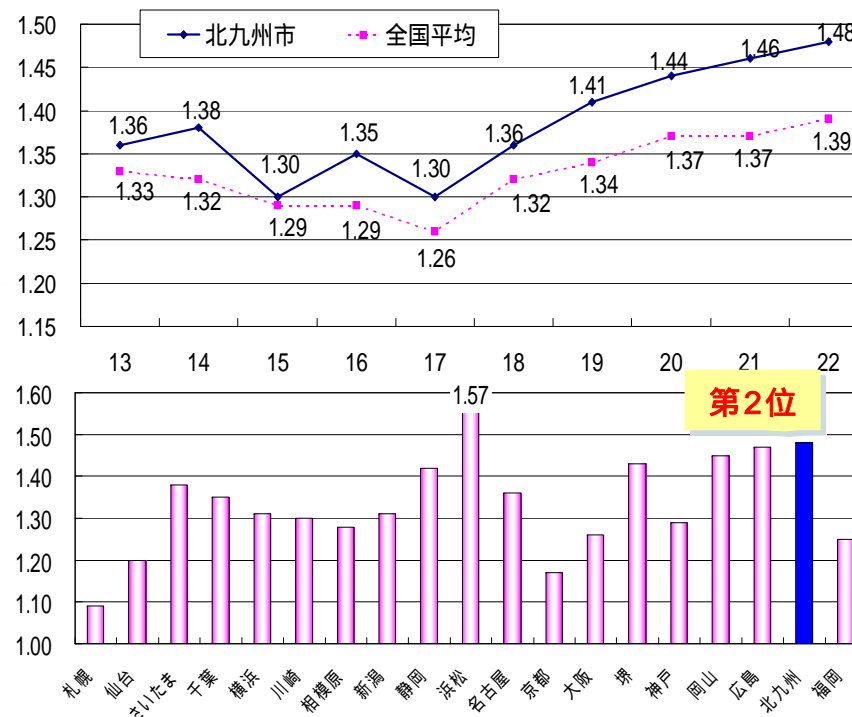


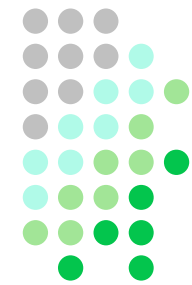
保育所保育士の加配 など



Green Frontier  
環境未来都市 北九州市

合計特殊出生率の推移と政令市の比較 (平成22年度)





主な支援状況 (平成24年9月1日現在)

1. 岩手県・釜石市への独自支援

昨年8月1日 釜石市役所内に「北九州市・釜石デスク」を設置



釜石市役所内の会議室に設置 (23年8月1日)

**市職員の派遣** 現在活動中：11人 ( 現地採用1名含む)  
 これまでの派遣人数：521人 (延べ7,544人日)

【主な活動内容】 区画整理、都市計画業務支援、漁港整備、水道整備業務支援、保健師による健康相談や心のケア

『絆』プロジェクト北九州会議

社会福祉協議会、自治会総連合会、市民生委員児童委員協議会、高齢者福祉事業協会、NPO団体、商工会議所、北九州市

**義援金** 総額：約4億100万円

絆プロジェクトによる支援 (本市への避難者)



避難者の方々への物資提供

これまで  
 125世帯291人を支援  
 (現在92世帯208人を支援中)  
 寄付金等：約6,400万円

住宅確保	被災者受入	生活支援	寄付受付
<ul style="list-style-type: none"> <li>公営住宅の確保</li> <li>善意オーナー物件の確保 (無料)</li> <li>低家賃物件の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者の受け入れと入居手続きを速やかに実施</li> <li>家電品等の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア、自治会、民生委員等による生活相談、情報提供</li> <li>心のケア、就業相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>義援金等の資金の受付</li> <li>移住当初に必要な物資の提供の呼びかけ</li> </ul>
行政、市民、企業	行政	NPO、社会福祉協議会、行政	市社会福祉協議会

2. 宮城県・石巻市から災害廃棄物(がれき)の受入れを表明 (24年6月)

受け入れる災害廃棄物の種類・基準

- 対象物... 宮城県石巻市で発生した**災害廃棄物**
  - \*木くずを中心とした可燃物
  - \*放射能濃度が100ベクレル/kg以下 (食品基準と同等)
- 受け入れる量... 約2万3,000トン(平成24年度)



Green Frontier  
 環境未来都市 北九州市  
©Nissan, City of Kitakyushu



石巻市の災害廃棄物

3. 風評被害防止対策の取り組み

風評被害防止対策室を設置

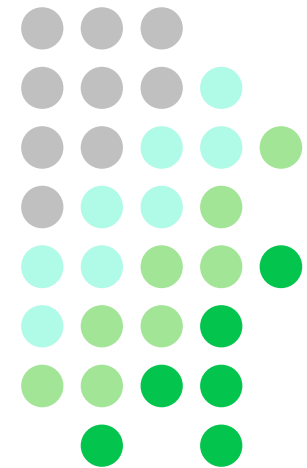
『北九州「海の幸」「山の幸」を愛する会』  
 発 足! (市民を中心に会員14万人)

\*地元産食材「大食会」を開催!

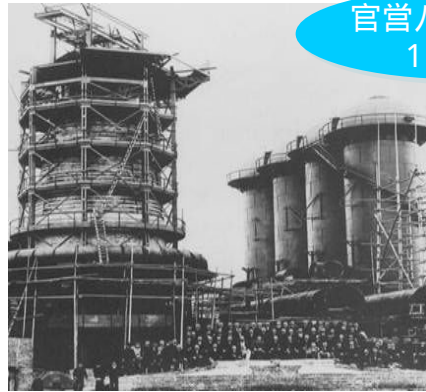
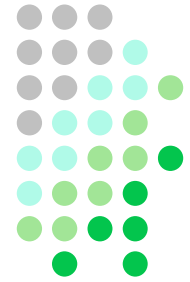
市民のネットワークで  
 風評被害を未然に防止



## CHAPTER 1 北九州市経済の現状



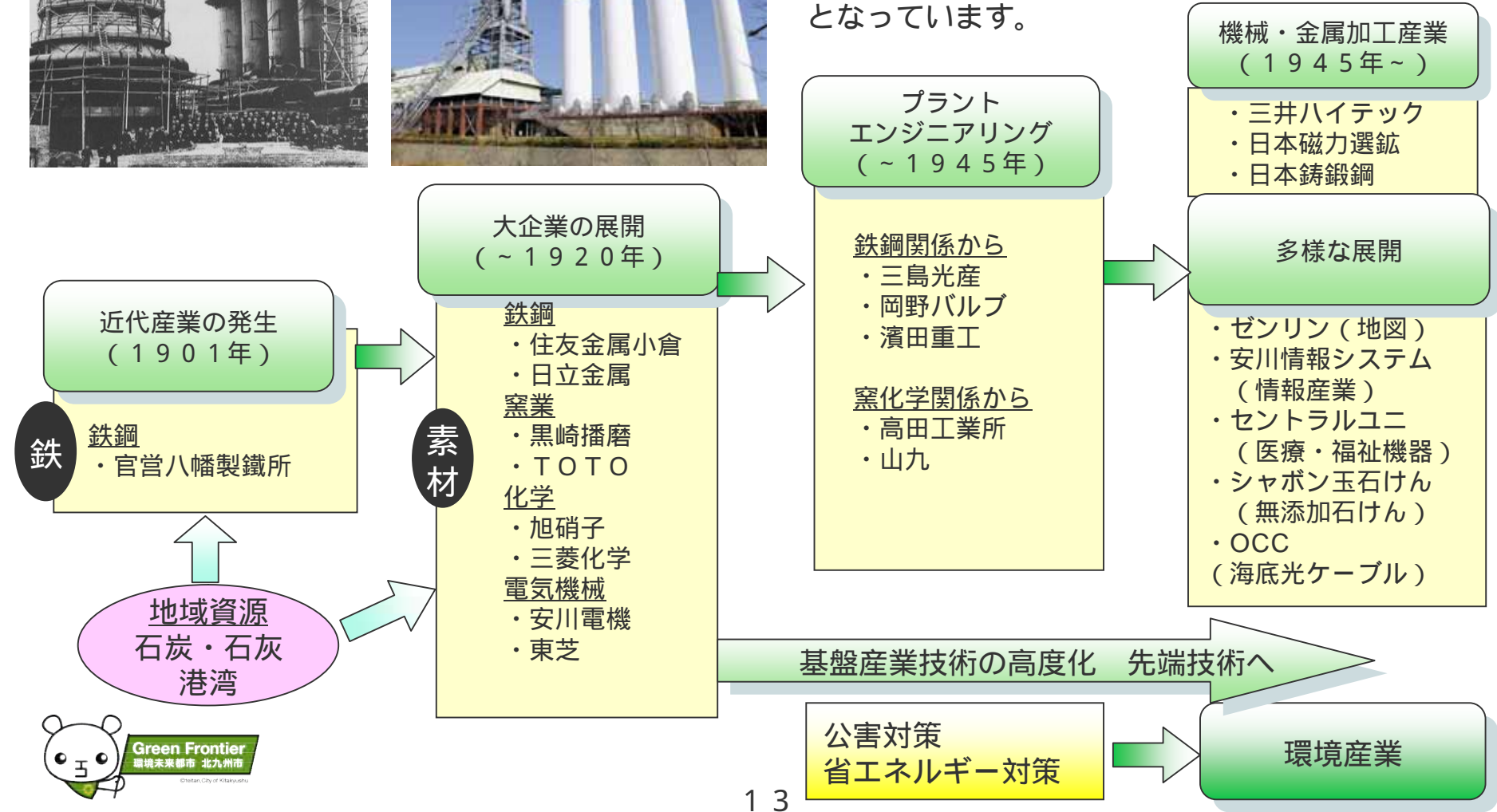
# ものづくり産業の蓄積



官営八幡製鐵所  
1901

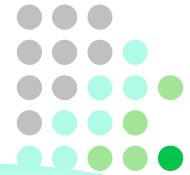


北九州市には、石炭、鉄鋼、化学から、半導体、ロボット等に至る産業・技術が蓄積しており、現在では、環境性能の高い製品の生産拠点となっています。





# 極めて低い地震・災害リスク



北九州市

1605年（江戸時代）  
以降の主な日本の地震

地震危険度がもっとも低い  
地域に位置し、業務継続性を確保

南西諸島



## 日本における過去の津波被害

日本及びその周辺の海域で発生した主な津波（684～現在）

出展：日本被害津波総覧（1998年）中央防災会議「災害時の避難に関する専門調査会」の資料を基に作成

津波の高さ



北九州市

●1993年（平成5年）  
北海道南西沖地震（M7.8）

●1983年（昭和58年）  
日本海中部地震（M7.7）

●1944年（昭和19年）  
東南海地震（M7.9）

●1896年（明治29年）  
明治三陸地震（M8.2）

●1933年（昭和8年）  
昭和三陸地震（M8.1）

●2011年（平成23年）  
東北地方太平洋沖地震（M9.0）

●1923年（大正12年）  
関東地震（M7.9）

●1946年（昭和21年）  
南海地震（M8.0）

南西諸島

	M	最大津波高 <sup>#1</sup>	被害状況 <sup>#3</sup>
1896年 明治三陸地震	8.2	38.2m	死者：21,959名
1933年 昭和三陸地震	8.1	28.7m	死者：不明、3,064名
1944年 東南海地震	7.9	9.0m	死者：不明、1,223名
1946年 南海地震	8.0	6.5m	死者：1,330名
1980年 <sup>#4</sup> チリ地震	9.5	6.1m	第一波到達時間：地震発生から約22時間30分後 死者：142名、被災者：160,000名
1983年 日本海中部地震	7.7	13.0m	死者：104名（うち津波による死者100名）
1993年 北海道南西沖地震	7.8	31.7m	死者：202名、不明：28名（うち津波による死者142名）
2011年 東北地方太平洋沖地震	9.0	40.5m <sup>#2</sup>	

出展：日本被害津波総覧（1998年）中央防災会議「災害時の避難に関する専門調査会」の資料を基に作成

# 成長を支える物流インフラ

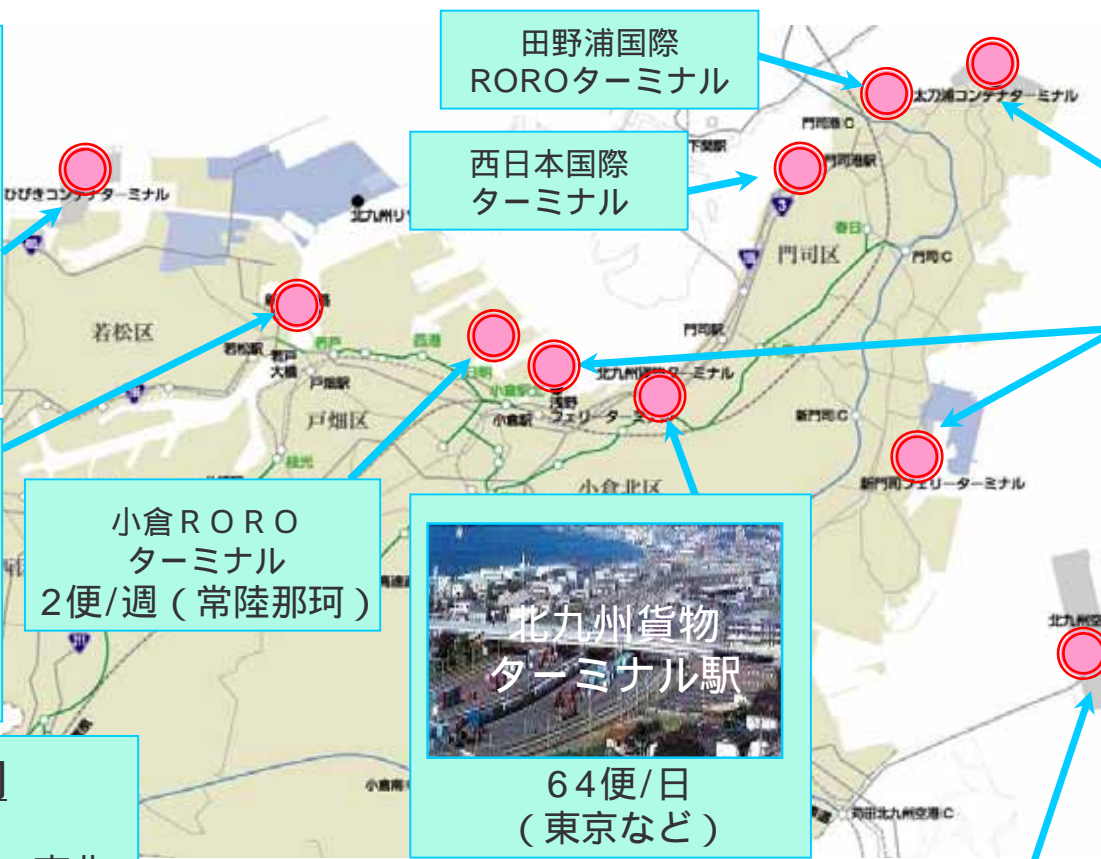


ひびきコンテナターミナル

6航路 24便/月  
大水深港湾



新若戸道路



小倉ROROターミナル  
2便/週 (常陸那珂)



北九州貨物ターミナル駅

64便/日  
(東京など)



太刀浦コンテナターミナル

33航路 177便/月



浅野 & 新門司フェリーターミナル

6航路 47便/週

**高速道路網**  
北九州都市高速道路  
北州市内を東西、南北に結ぶ。総延長49.5km  
東九州自動車道  
北九州JCT  
～ 苅田北九州空港IC



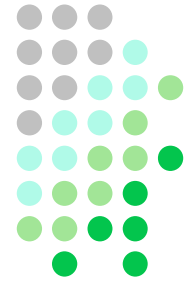
北九州空港

国際線 (北九州 - 韓国・釜山)  
・SFJ (1日2便)

国内線 (北九州 - 羽田)  
・JAL、SFJ (1日17便)



# 多様なニーズに応える産業用地



# 企業集積の状況



## 集積する産業

100年以上にわたり、日本の産業拠点として発展した歴史から自動車、半導体、素材・部材等を中心とした産業が集積・高度化しており、近年注目されている環境・エネルギー産業も多く立地しています。

- 環境・エネルギー関連**
  - アミタ㈱
  - 同野バルブ製造㈱
  - 西部ガス㈱
  - ㈱新美 本社工場
  - INDPエネルギーシステム戸畑工場
  - 電源開発㈱ 若松事業所
  - 戸田マテリアル㈱
  - 日本コークス工業㈱
  - 日本パワーグラフィック㈱
  - 日本ロバコ㈱
  - ㈱安川電機 本社・八幡西事業所
- 半導体関連**
  - 旭通機テクノケイオン㈱
  - ㈱アドバンテスト
  - ㈱三井ハイテック 本社工場
- 素材・部材関連**
  - 大阪精工㈱ 九州工場
  - 東崎機軸㈱
  - 小倉合成工業㈱
  - 新日鐵化学㈱ 九州製造所
  - 新日鐵住金ステンレス㈱ 八幡製造所
  - 新日本製鐵㈱ 八幡製鐵所
  - JNCマテリアル㈱
  - 住友金属工業㈱小倉製鉄所
  - ダイソー㈱ 小倉工場
  - 大日本印刷㈱ 黒崎工場
  - 大和製鐵㈱ 新戸畑工場
  - 東海カーボン㈱ 九州若松工場
  - 東京製鐵㈱ 九州工場
  - 東邦金属㈱ 門司工場
  - 東邦チタニウム㈱ 八幡工場・若松工場
  - 日揮触媒化成㈱ 北九州事業所
  - 日本鋼管㈱
  - ㈱日立金属若松
  - フロンティアカーボン㈱
  - 三島光産㈱
  - 三菱化学㈱ 黒崎事業所
  - 三菱マテリアル㈱ 黒崎工場
  - 吉川工業㈱
- 情報通信関連**
  - ㈱NTT西日本-九州
  - ㈱NTTマーケティングアクト
  - ㈱オリエントコーポレーション
  - 九州日本信販㈱
  - セイコーエプソン㈱
  - 富士通コミュニケーションサービス㈱ 北九州センター・北九州黒崎サポートセンター
  - ソフトバンクテレコム㈱
  - ソフトバンクBB㈱
  - ㈱テレマーケティングジャパン
  - マーシュジャパン㈱
  - ヤフーカスタマーリレーションズ㈱

- 自動車関連**
  - 石川金属工業㈱
  - ｲﾝﾀｰﾈｰｼﾞｱﾝｼｽﾃﾑ 北九州工場
  - 太田機工㈱
  - ㈱九州イマセン
  - 九州シロキ㈱
  - サカエ理工工業㈱
  - 千代田工業九州㈱
  - ㈱デンソー-北九州製作所
  - ㈱戸畑ターレット工作所
  - トヨタ自動車九州㈱ 小倉工場
  - 豊田合成㈱ 北九州工場
  - ㈱ナニユニット
  - ㈱ニイデック
  - ㈱ブリヂストン 北九州工場
  - ㈱三井スタンピング
  - 八幡金属㈱

- 研究開発関連**
  - 新日鐵エンジニアリング㈱北九州環境技術センター
  - 新日鐵エレクトックス
  - 北九州学術研究都市
    - ㈱Test, ㈱Ubicon
    - ㈱イーシーエス
    - 石田特許事務所
    - ㈱インフォグラム
    - エーシーテクノロジーズ北九州㈱
    - STEM/バイオメソッド㈱
    - ㈱STEO
    - ㈱エリア
    - ㈱OHG研究所
    - ㈱キットヒット
    - CEL㈱
    - ㈱K2R
    - 佐島電機㈱
    - ㈱C&Gシステムズ
    - ㈱ジェム・デザイン・テクノロジーズ
    - ㈱ジェンテックスジャパン
    - ㈱ジオクラスター
    - ㈱シキノハイテック
    - ㈱シスウェーブ
    - ㈱ジーダット・イノベーション
    - 実証開発㈱
    - ㈱シーティア
    - ㈱Seed
    - 新日本無線㈱
    - シャボン玉石けん㈱
    - ㈱セキュリティ情報研究所
    - 大日本印刷㈱
    - ティー・クルー・テクノロジーズ㈱
    - TDKラムダ㈱
    - 長瀬産業㈱
    - 日本プライス・マネジメント(四)
    - ㈱ネオエンジニアリング
    - ㈱バイトリコソリューションズ/ロジック
    - 博通テクノロジーズ㈱
    - ㈱パートナー
    - ㈱ビー
    - ㈱日出ハイテック
    - ヒロコン㈱
    - 播磨資材㈱
    - 富士電機システムズ㈱
    - ㈱フューレック
    - ㈱プラテック
    - ベセル㈱
    - ㈱ミックステクノロジーズ
    - 山口公認会計士事務所
    - 吉川工業㈱
    - ㈱リキッド・デザイン・システムズ㈱
    - ㈱ロココ
    - ㈱ロジカルプロダクト
    - ロボフューチャー㈱
    - RoboPlusひびきの㈱
    - ㈱ワールドフュージョン



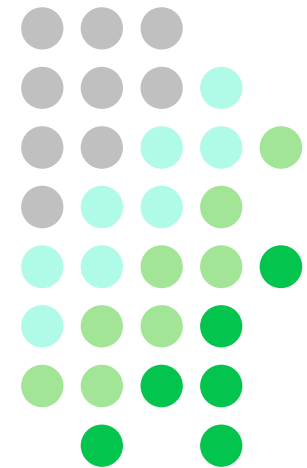
- 物流関連**
  - 花王ロジスティクス㈱
  - 小倉運送㈱
  - ㈱しまむら
  - 大和ハウス工業㈱
  - トヨタ輸送㈱
  - 日本橋包運輸倉庫㈱
- その他製造業**
  - エスジーグリーンハウス㈱
  - エステー㈱ 北九州工場
  - 王子製紙㈱
  - ㈱OCC
  - 九州製紙㈱
  - シャボン玉石けん㈱
  - 新日鐵エンジニアリング㈱ 戸畑事業所
  - ㈱J-オイルミルズ 若松工場
  - 第一石炭㈱ 九州事業所
  - 大塚シーリング印刷㈱ 戸畑工場・小倉工場・門司工場
  - 中外炉工業㈱ 小倉工場
  - TOTO㈱ 本社・小倉第1工場
  - 東洋プレシユ㈱
  - ニッカウキスキー㈱ 門司工場
  - 日本水産㈱ 戸畑工場
  - 豊源薬業㈱
  - ㈱ユニ-エレクトックス
  - ㈱昭和
  - 吉野石膏㈱ 北九州工場

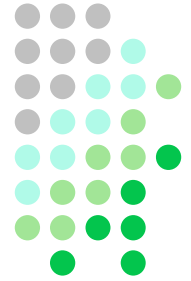


過去5年間の企業誘致実績 (平成19年度～平成23年度) 誘致件数：202件 新規雇用：4,149人 投資額：4,515億円

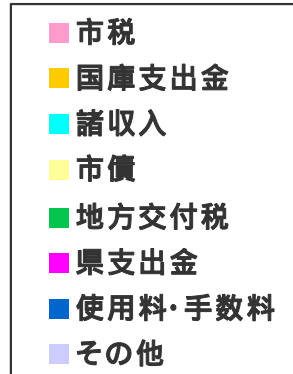
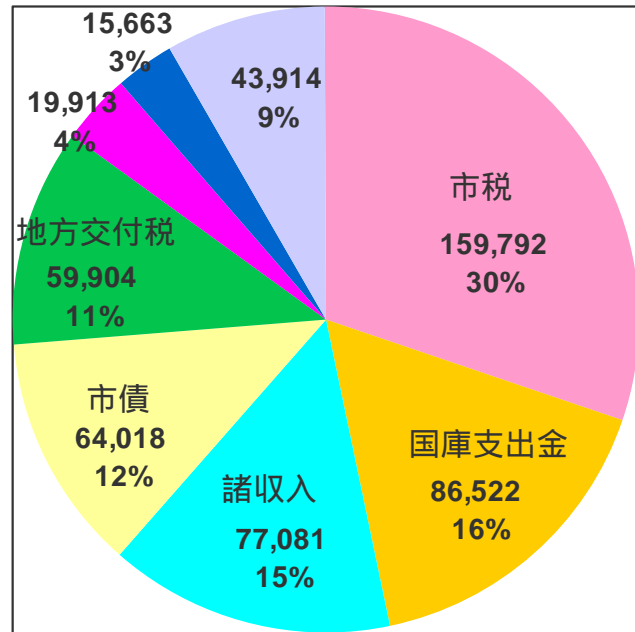


## CHAPTER 2 北九州市の財政状況





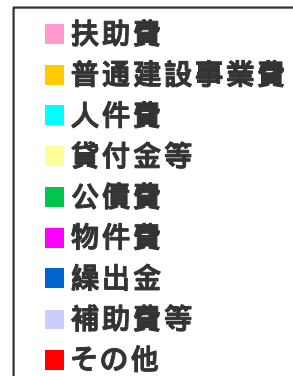
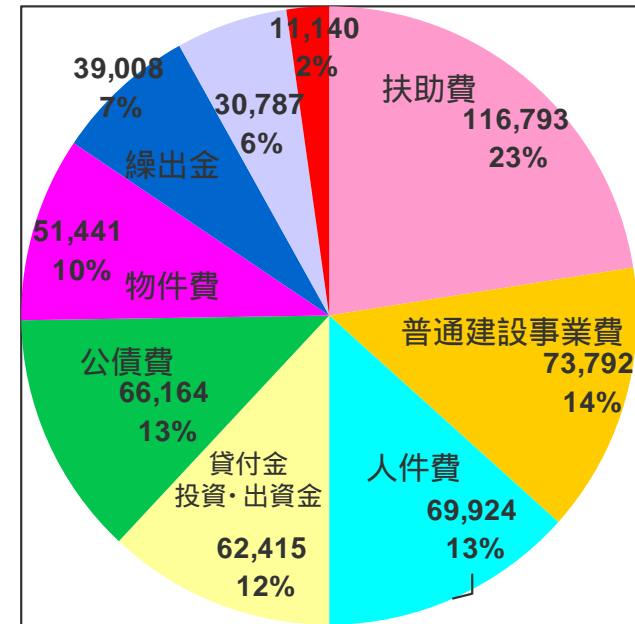
歳入



平成23年度 歳入決算額 (普通会計)

歳入総額 526,807百万円

歳出

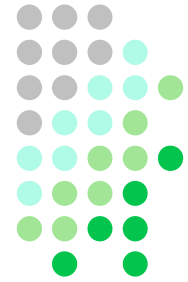


平成23年度 歳出決算額 (普通会計)

歳出総額 521,463百万円

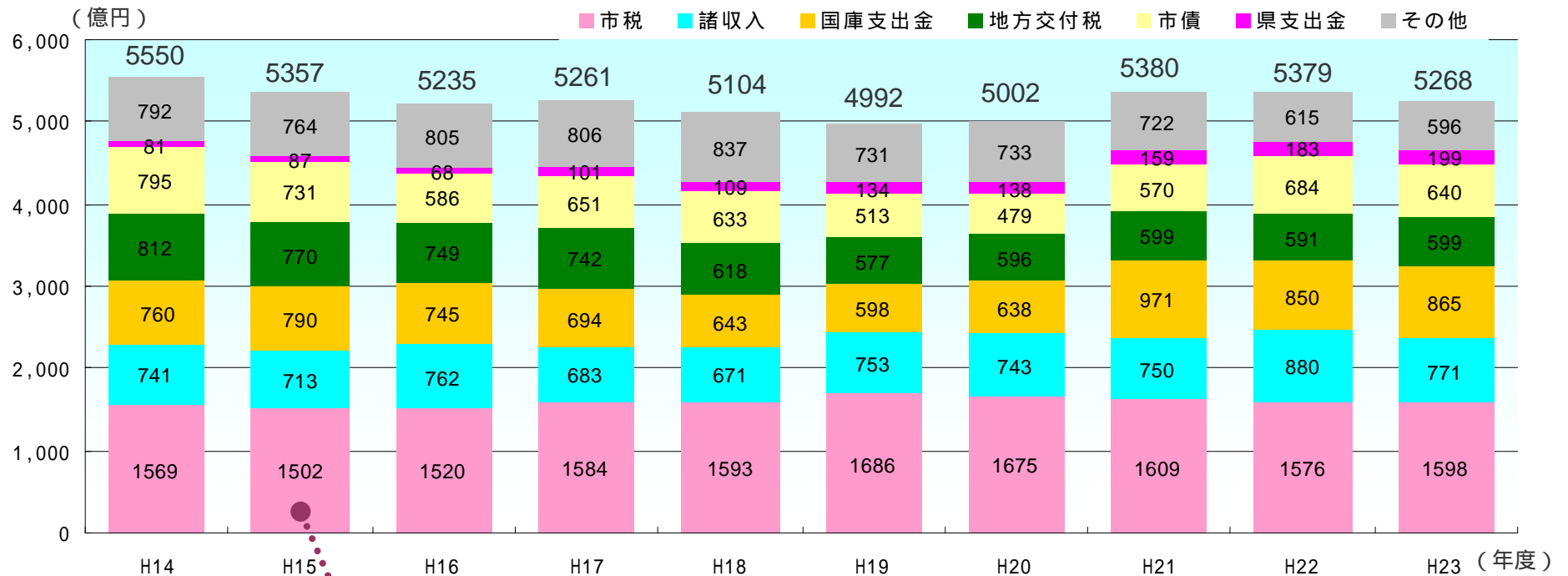


# 歳入決算額の推移



## 歳入決算額の推移（普通会計）

市税収入は、法人市民税や固定資産税、市たばこ税等の増加により4年ぶりの増収。  
市税収入率も4年ぶりの回復となった。



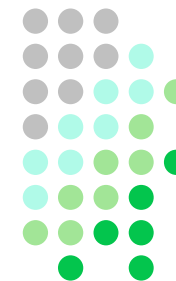
### 環境未来税

(H15.10創設) ~企業の経済活動をリサイクル、減量化に誘導~

- ・環境施策を積極的に推進するための法定外目的税
- ・廃棄物の中間処理には課税せず、最終処分まで課税

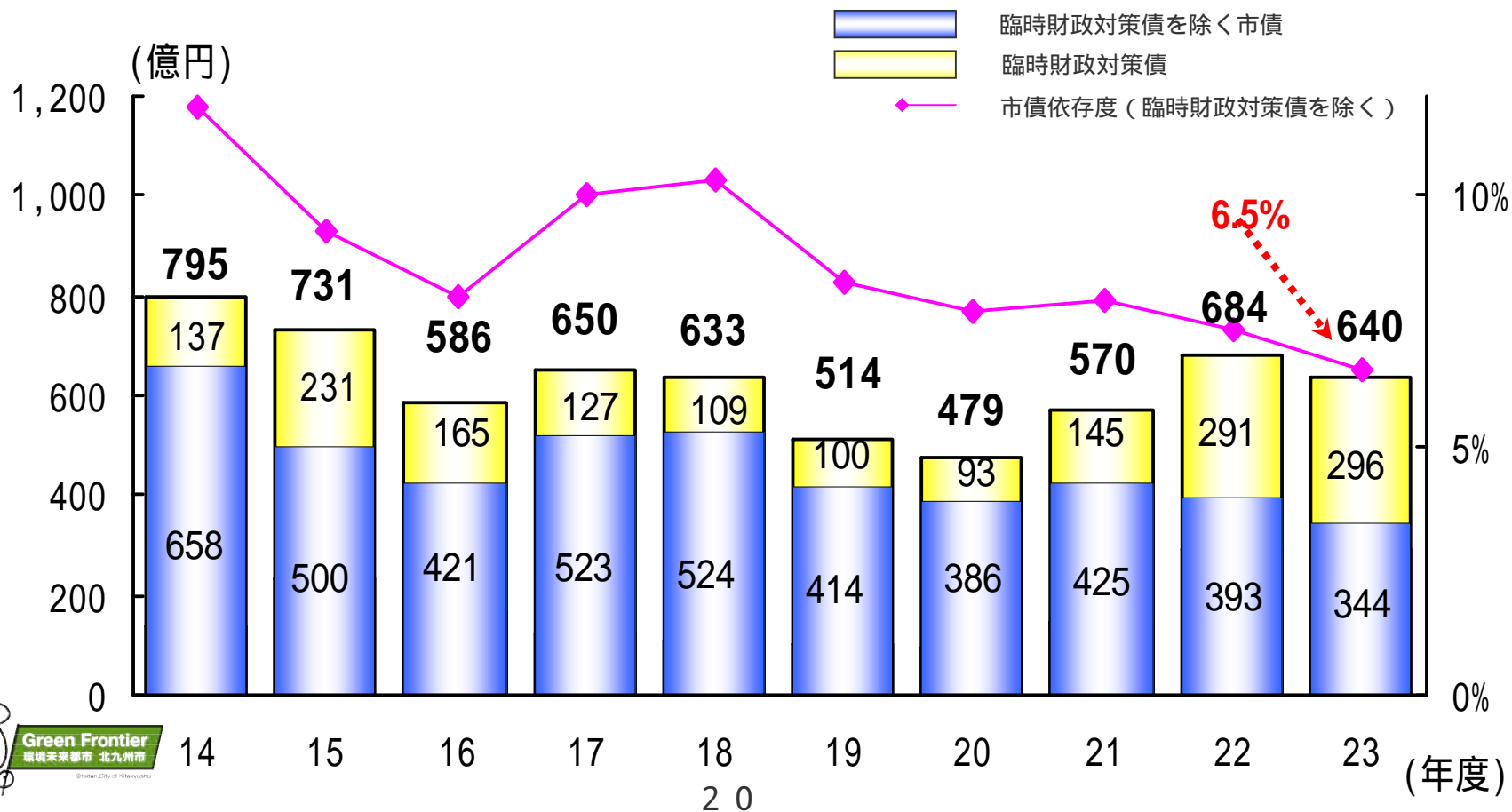


# 市債発行額と市債依存度の推移



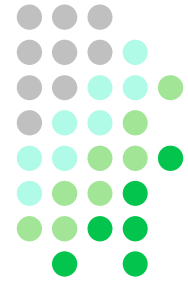
## 市債発行額と市債依存度の推移（普通会計）

地方交付税の振替えである臨時財政対策債を除く市債発行額は、前年度から49億円の減少となり、歳入に占める市債依存度は過去10年間で最も低い6.5%となった。



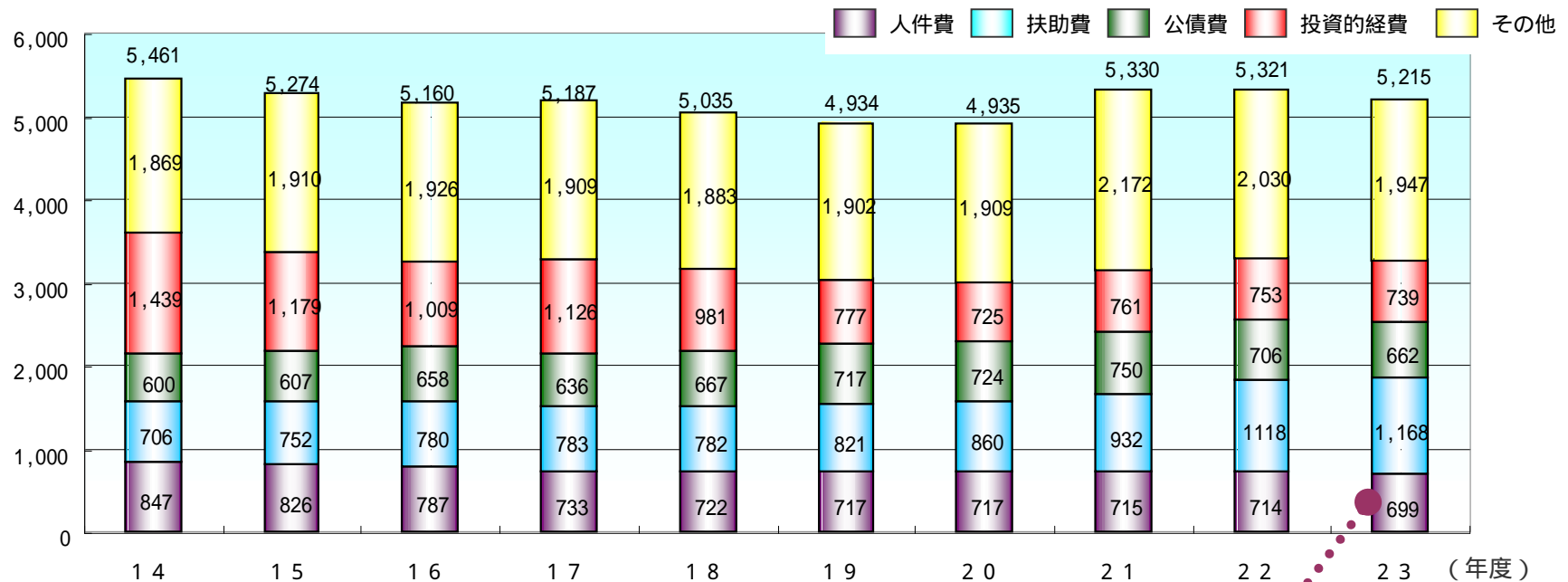


# 歳出決算額の推移



## 歳出決算額の推移（普通会計）

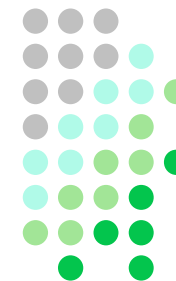
義務的経費は、6年ぶりに前年度を下回った。  
 投資的経費は、直近10年で縮減傾向。  
 人件費は、平成に入り初めて700億円を下回った。



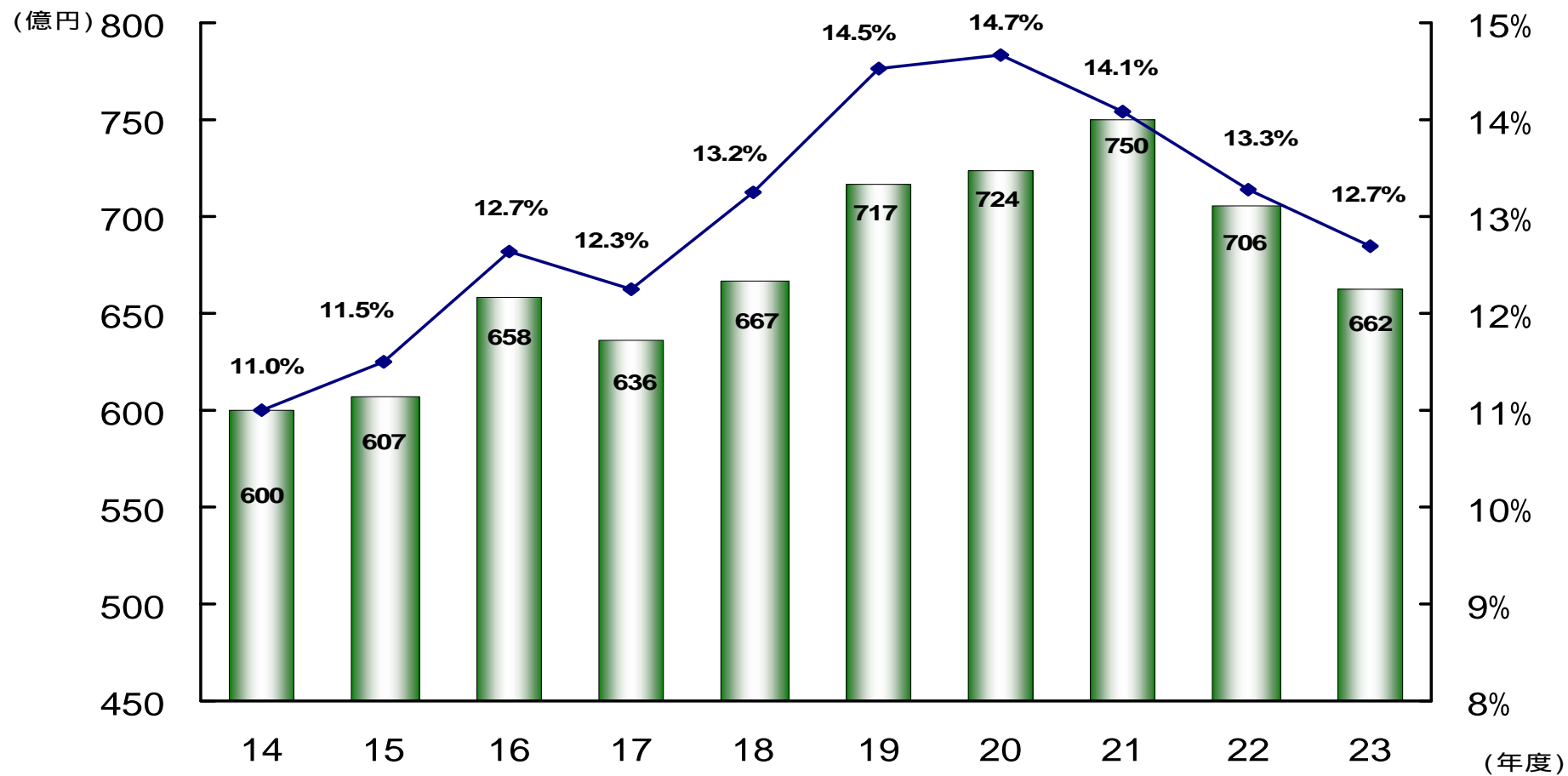
行財政改革の取組みによる  
 職員数削減と人件費総額抑制  
 人件費比率（13.4%）は19政令市中、  
 低い方から第4位



# 公債費の推移



歳出に占める公債費、公債費割合の推移（普通会計）

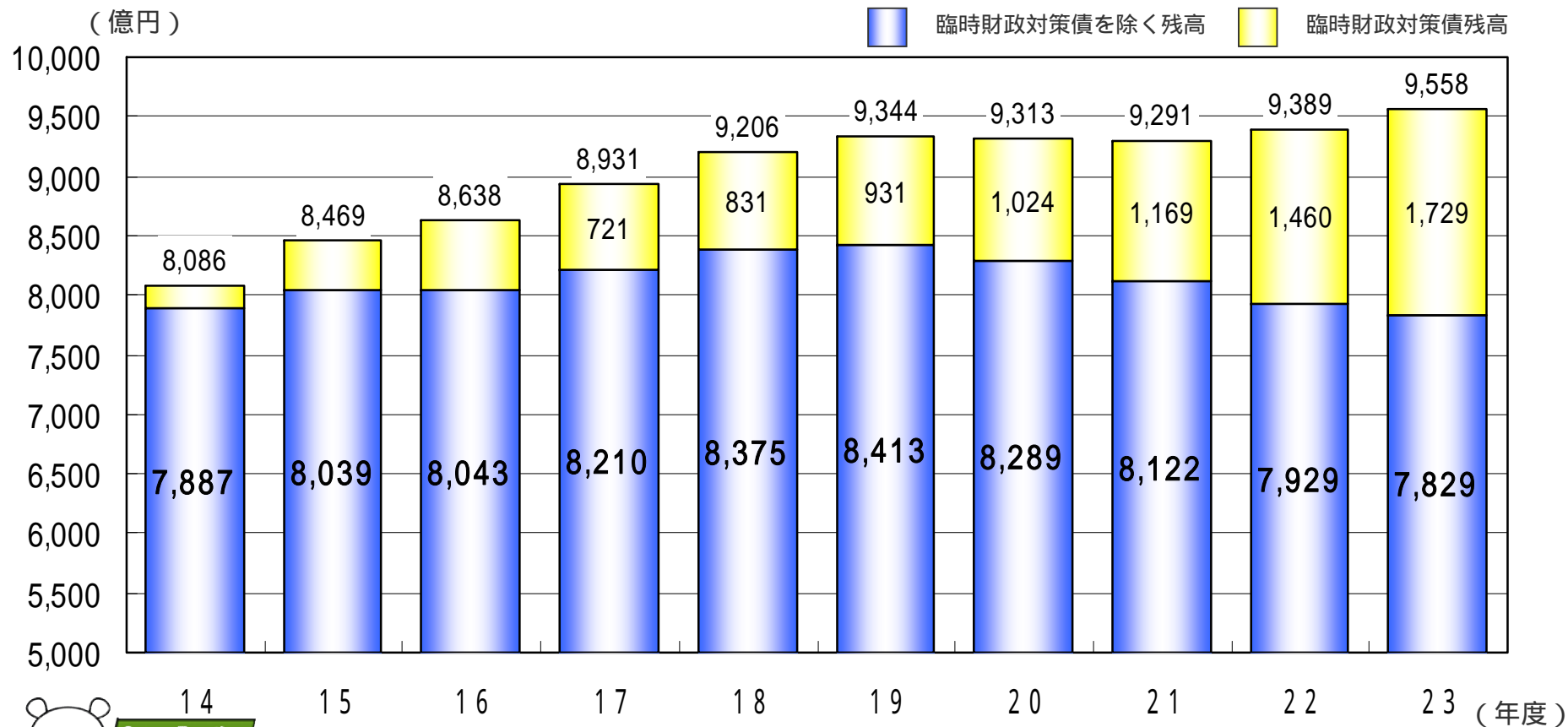


# 市債残高の推移

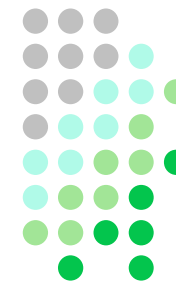


## 市債残高の推移（普通会計）

近年の投資的経費の縮減効果により、  
臨時財政対策債を除く市債残高は19年度以降、減少。



# 健全化判断比率等（平成23年度決算）



## 【健全化判断比率】

各比率はいずれも基準値を大きく下回っている。  
**財政規律を堅持し財政の健全性を維持**

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
北九州市	-	-	11.4%	166.9%
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	400.0%
財政再生基準	20.00%	35.00%	35.0%	

実質赤字比率 は、連結ベースを含め、「**比率なし**」の黒字を確保

実質公債費比率は、第8位（19都市中）

将来負担比率 は、第12位（19都市中） 順位は、良い方からの順位【速報値】

## 【資金不足比率】

公営企業会計が対象（上・下水道事業や病院事業など）

公営企業会計は**資金不足を生じた会計がないため比率なし**

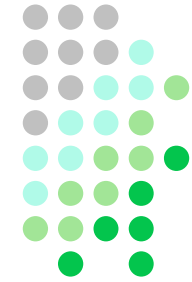
病院事業会計では、経営改善への取り組みを行った結果、単年度実質収支は17.7億円の黒字となり、これまでの不良債務を4年ぶりに解消。

### 主な取り組み例

- ・ 小児病棟の拡充や、小児入院医療管理料の算定等による小児医療の充実
- ・ 医薬品、診療材料等の購入価格の見直しによる経費節減



# これまでの経営改善の取り組み



## 北九州市経営プラン

収支改善額

23年度実績 **39億円**

### (歳入増)

#### 【債権回収の強化】

滞納金額20万円以上の高額滞納事案につき、着実な滞納処分を実施。収入率96.2%、前年比0.3%の改善  
コンビニエンス・ストアでの市税収納の導入

#### 【収入額の確保】

国庫補助金等の活用、特別会計剰余金等の活用、  
広告事業の拡充による収入確保など

#### 【未利用資産の処分・活用】

未利用市有地の売却、一時貸付の実施

### (歳出減)

#### 【職員数の削減】

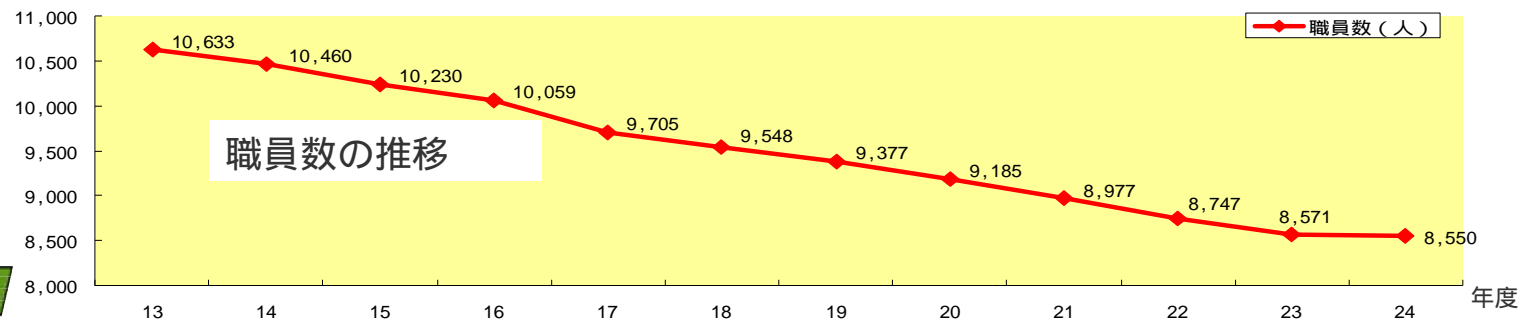
民営化・民間委託の推進、組織の見直し等により  
職員数の削減を実施  
職員数を今後8,000人体制へ

#### 【事務事業の見直し等】

公共施設の維持管理経費の削減や、公の施設管理  
への指定管理者制度の導入推進など

#### 【公共投資の重点化・抑制】

公共事業の着手・継続の必要性や効果等について、着手前・  
着手後に評価を行う「公共事業評価システム」の推進  
民間のノウハウを活用するPFIの導入



# 新行財政改革の検討と 「北九州市行財政改革調査会」

- 厳しい財政状況の中でも、本市のまちづくりのビジョンをしっかりと描きつつ、未来志向で、強めるべきところは強めることが重要（「選択と集中」）。
- そのため、行政運営が効率的・効果的であるかを十分に検討し、今後の行財政改革の方針を定める。

## 基本方針

中長期的な視点での  
行財政運営全般の見直し

市民にわかりやすい行財政改革

## 北九州市行財政改革調査会 (H24.4月～)

一層の行財政改革を推進するため、外部の有識者でつくる調査会を開催。

行財政改革に関し見識のある有識者（学識経験者、経済界・労働界等）7名で構成。


スピード感を持って行革を進めるため、検討を終えた項目から、順次答申を出す。

## 新行財政改革の検討の柱


（諮問事項）


- 1. 官民の役割分担と持続的な仕事の見直しの仕組み**  
真に行政が担うべき仕事について見直すと共に、行政サービスとして実施する必要性・実施手法等について点検を行う仕組みをつくる。
- 2. 公共施設のマネジメント**  
市有建築物の全容を把握、分析し、全市的な視点で公共施設のあり方等を検討する。
- 3. 外郭団体改革**  
外郭団体のあり方を見直すとともに、効率的・効果的な経営体制の構築等について検討する。
- 4. 簡素で活力ある市役所の構築**  
地方分権の進展に的確に対応していくため、組織運営全般についてあり方を検討する。


## 取り組みスケジュール


H24.4  市から行財政改革調査会へ諮問

（行財政改革調査会）

H24.7  議事  
第一次答申  
「官民の役割分担と持続的な仕事の見直しの仕組み」

 議事  
第二次答申  
「公共施設のマネジメント」

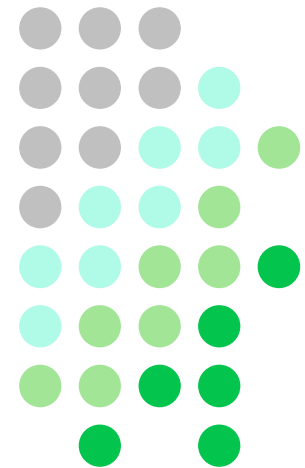
 議事  
第三次答申  
「外郭団体改革」

H25夏頃  議事  
最終答申  
「簡素で活力ある市役所の構築」

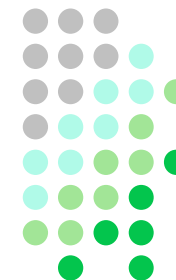
市としてできることから取り組むとともに、新たな行財政改革の計画を策定。



## CHAPTER 3 起債運営について



# 起債発行計画



20年債を24年11月に発行予定

個別発行10年債を24年12月に発行予定

これまで以上にIRへ積極的に取り組むとともに、市場との対話を重ね、丁寧な起債運営に取り組む

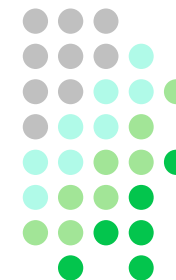
【平成24年度起債発行予定額】1,236億円

(単位 億円)

市場公募債				銀行等 引受債	政府 資金等
5年債	10年債		20年債		
	個別	共同発行			
200	150	300	200	261	125







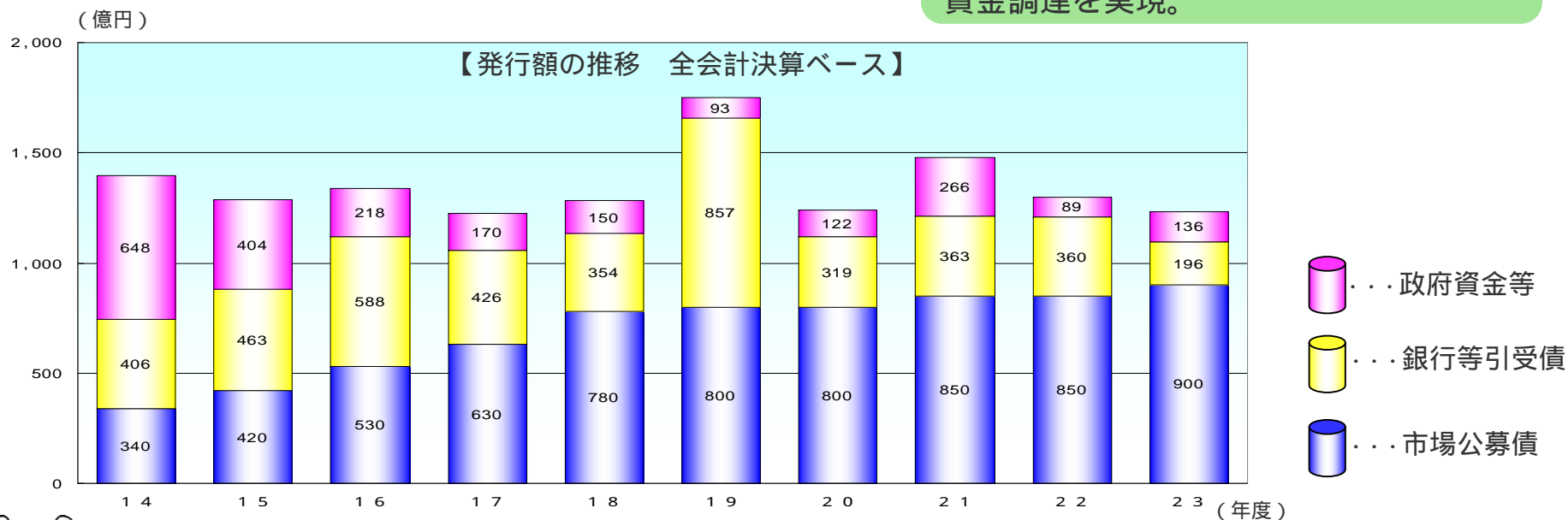
## 資金調達の多様化への取り組み

銀行等引受債の5年債の債券発行（H12～）  
 住民参加型市場公募債（ひまわり債）の発行（H14～）  
 共同発行市場公募債の発行（H15～）  
 シンジケート・ローンでの借入（H16～）

提案募集方式による借入（H17～）  
 超長期債（20年債）の発行（H18～）  
 全国型5年債の発行（H19～）

## 市債発行に占める政府資金、民間資金の推移

民間資金の割合は、平成16年度以降概ね8割を超え、政府資金に頼らない資金調達を実現。



# 平成 2 4 年度市場公募債発行計画



平成 2 3 年度に引き続き、平成 2 4 年度も 7 月に 2 0 年債、9 月に 5 年債を発行。  
今後も、2 0 年債（1 1 月）、1 0 年債（1 2 月）の発行を予定しています。

単位：億円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年債						200							200
10年債									150				150
20年債				100				100					200
共同発行債			100		50			50			50	50	300
計													850





北九州市財政局財務部財政課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL : 093-582-2003 FAX : 093-582-2070

